

# 金ヶ崎町地域づくりのあり方検討会 中間報告書

平成30年3月23日（金）

## 1 金ケ崎町地域づくりのあり方検討会設置の目的

第十次金ケ崎町総合発展計画において掲げる将来像「人と地域が支えあうまち金ケ崎」の実現に向け、地域の特色を生かしながら、将来にわたり持続可能な地域づくりを進めるため、地域づくりのあり方や仕組み等を検討することを目的に設置しました。

## 2 委員等

### (1) 委員

No.	団体	役職	氏名	備考
1	二日町自治会	会長	高橋 昭悦	
2	金ケ崎町認定農業者研鑽会	会長	板宮 研治	
3	金ケ崎町社会福祉協議会	課長	郡司 彰	副委員長
4	株式会社本宮運輸	代表取締役	菅谷 忠寿	
5	金ケ崎町教育委員	委員	細目 明子	委員長
6	金ケ崎町商工会青年部	部長	梅田 太一	
7	金ケ崎町男女共同参画推進員	会長	奈良 勇一	
8	金ケ崎町シルバー人材センター	理事長	小野寺 逸夫	
9	金ケ崎町民生委員・児童委員		小野寺 福男	(公募委員)
10	下永沢第一自治会	会長	高橋 文人	(公募委員)

### (2) オブザーバー

No.	団体	役職	氏名	備考
1	特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター	常務理事	若菜 千穂	
2	いちのせき市民活動支援センター	センター長	小野寺 浩樹	
3	街地区生涯教育センター	所長	高橋 範夫	
4	永岡地区生涯教育センター	所長	高橋 利男	
5	三ヶ尻地区生涯教育センター	地域づくり支援員	佐藤 修子	
6	北部地区生涯教育センター	地域づくり支援員	佐藤 浩美	

## 3 これまでの経過

- 第一回検討会 …… 平成29年 7月24日 (月)
  - (1) 金ケ崎町の地域づくりの現状について
  - (2) 今後のスケジュールについて
- 第二回検討会 …… 平成29年 9月 1日 (金)
  - (1) 他市町村の事例研究
- 第三回検討会 …… 平成29年11月15日 (水)
  - (1) 街地区・永岡地区自治会長ヒアリング結果について
  - (2) 今後の金ケ崎町における地域づくりのあり方について
- 第四回検討会 …… 平成30年 3月14日 (水)
  - (1) 中間報告書(案)について

## 4 報告内容

本検討会については、平成30年度までの2カ年で検討することとなりますが、平成29年度の議論について、中間報告として次の通りまとめました。

速やかに改善、見直しが可能なものから着手するとともに、地域づくりのあり方について、自治会をはじめとする自治組織、役場がそれぞれの立場において、今後の人口減少社会における持続可能な地域づくりを進めるための議論を深めることを期待いたします。

### (1) 自治会（※1）の役割を考える

これまでの自治会の事業や役割について、現在の地域課題や価値観の多様化などの現状をふまえ、これからの自治会の役割について検討が必要です。

自治会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>自治会の役割について、地域内で話し合う気運を盛り上げる。</u></li> <li>・ <u>より多くの住民の声を聞きながら、本来の自治会の役割について話し合う場を設ける。</u></li> <li>・ 具体的な自治会活動の見直しに着手する。</li> </ul>
役 場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>行政主導で整備してきた自治会や各種団体等の全体的な整理と自治会の役割について整理する。</u></li> <li>・ <u>地域が話し合いを行うための学習機会や話し合いの支援を行う。</u></li> <li>・ <u>地域が課題解決等に取り組む際の学習機会や経済的支援の仕組みを作る。</u></li> </ul>

※1 自治会 … これまでの調査等で、自治会の役割は行政区毎に異なることが見えてきました。ここでの自治会は、自治会の他、地縁団体、講中等の自治組織全体を言います。

### (2) 様々な世代の参加による地域づくりを進める

将来に責任を持つ若い世代や女性等、様々な世代の声を反映するための仕組みや支援のあり方の検討が必要です。

自治会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>若い世代や女性の声を反映できるよう、総会や行事の開催方法等の見直しを行う。</u></li> <li>・ <u>それぞれの世代の育ってきた時代背景や、多様化する価値観を理解し合える地域を作る。</u></li> <li>・ 次世代を育てる視点で、自治会に限らず、若い世代が主体的に関われる機会を創出する。</li> </ul>
役 場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>役場や地区生涯教育センターにおいて若い世代を対象とした場づくりや、団体育成の機会を設ける。</u></li> <li>・ <u>様々な年代を交えた話し合いの場や情報発信の機会を設ける。</u></li> <li>・ <u>自治会に限らず、若者や女性が活動しやすいように、学習機会や経済的支援の仕組みを作る。</u></li> </ul>

(3) 自治会の省力化を考える

人口減少や高齢化、価値観の多様化など、時代が変化する中で、自治会行事や組織機構、各種団体の目的を再点検し、それぞれの身の丈に併せて自治会の省力化を進める必要があります。

自治会等	<p><b>・地域で負担になっている事業、見直しが必要な事業がある自治会は、それぞれの地域の身の丈に併せて見直しを進める。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで実施してきた事業の中から、自分たちの体力に応じて、真に大切な地域の暮らしを守るための事業を、さらに選択する機会を作る。</li> <li>・行事を減らすため、地域全体で不要な行事を整理する機会を設け、役場や各種団体が主催する行事等については、地域からも提案を行う。</li> </ul>
役 場	<p><b>・区長配布の削減、自治会長と行政区長の兼務の見直しなどは、多くの自治会長から要望があることから、速やかに見直しに着手し、各種委員会は、自治会長に限定せず、意見を集める方法を検討する。</b></p> <p><b>・多くの自治会からイベントの動員等に対する自粛要請がある中、役場全体として行事を実施する際の役場全体の方向性を整理する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各課が主管する各種団体、各種団体が実施する行事等は、全町一律の制度から、課題に応じて自治会が柔軟に選択できる仕組みに改善する。</li> <li>・役場以外の様々な団体との調整の場を設け、金ヶ崎町全体の行事等の省力化を進める。</li> </ul>

(4) 自治会連合会・地区生涯教育センターの役割を考える

自治会の人口規模や地域課題などが異なる中で、自治会連合会や地区生涯教育センターの事業が負担になる地域が出ています。自治会連合会や地区生涯教育センターの役割について、これまでの交流を中心とした事業から、地域課題の解決につながるような事業への見直しを進める必要があります。

自治会等	<p><b>・人口規模の大小や価値観、地域課題が多様化する中で自治会連合会の役割の見直しや複数の自治会での連携について検討する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少等により、単独の自治会で出来なくなる事、他の自治会と助け合う事で効果的に取り組める事業は、地区生涯教育センター等を活用して学習機会や話し合いの機会を設ける。</li> </ul>
役 場	<p><b>・自治会連合会や地区生涯教育センターの共催事業について、主催と共催を明確に整理する。</b></p> <p><b>・地域づくりや人づくりを進めるうえで、社会教育（生涯教育センター）の事業や役割を見直す。</b></p> <p><b>・地域協働補助金、地域活性化委員会、自治会補助金のあり方について、目的や公平性などの観点から整理を行う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題が増加する中、地域で課題を解決するための相談機能として地区生涯教育センターの役割について検討する。</li> </ul>

## 5 その他

検討委員会では自治会以外に活動する市民活動、サークル活動、各種団体等の活躍も地域づくりに極めて重要な要素であるという意見や、若者が住みたくなる地域づくりを進めるために活性化事業や情報発信の必要性についても意見が出されており、それぞれの地域の実情に応じた身の丈に併せた地域づくりの方向性について、平成30年度に継続的に議論を進めることとしています。